

みんなで育てる「たいしの子」vol.20



学校園で伸ばす非認知能能力

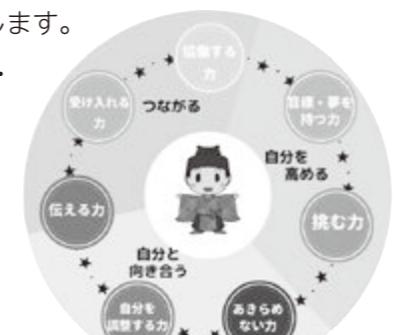
町立学校園ではどんなことをして、子ども の非認知能力を育てているの？

町では、子どもたちが将来、自分らしく生き生きと成長できるよう、「非認知能力」を大切にした教育を行っています。幼稚園から中学校まで一貫して取り組むこの教育は、地域の皆さんとともに子どもたちの未来を支えるための大切なものとなっています。今回は、その成果と学校園での取り組みについてご紹介します。

非認知能力の伸長は、幼小中一貫でめざす 子ども像へ向かう手段！

幼小中一貫教育で育む子ども像

【豊かな人生とより良い社会を主体的につくるために 自ら考え うごき 相手を大切にできる人】



① 7つの力を意識する

子どもたちと大人が非認知能力を意識しやすいように各学校園で工夫をしています。

町立磯長小学校では、「心の力」として身近に感じられるように、「シナショウレンジャー」というキャラクターをつうじて、子どもたちが自然と大切な言葉を思い浮かべられる工夫をしています。

町立幼稚園では、「笑顔の根っこ」という表現で、幼稚園の通信で日々の実践をわかりやすく紹介し、笑顔のある心を育んでいます。



② つけたい力を子どもと大人で確かめる

運動会や修学旅行などの学校行事では、どんな力を育てたいのかを子どもと大人が一緒に確認し、その目的に向けて取り組みます。行事の後には、振り返りの時間を設け、子どもたちが気づいたことや成長を記録し、次の挑戦につなげています。



③ 授業をおして伸ばす！

町立中学校では、授業のはじめに「今日はどんな力を伸ばしたい？」と意識のスイッチを入れ、授業後には「実際にどうだったか？」とリフレクション（振り返り）を行います。

教員は、授業内で非認知能力を高めるための工夫を考え、教科や学年を超えて子どもたちの成長を支える活動を行っています。「子どもを主語に」した教育を大切にしています。

太子町の行動指標をもとに教科ごとに考えた行動指標	
国語	社会

▲振り返りの基準を各教科で準備

④ 気持ちの見える化！

町立山田小学校では、感謝や思いやりの気持ちを「見える化」するために、「ありがとう」の気持ちを伝えるメッセージボードを設置しています。付箋に感謝の言葉を書いて貼ることで、気持ちがより具体的に見える形となり、あたたかな学校文化を育んでいます。



▲タブレットを活用した振り返りの様子



⑤ 支援教育で非認知能力を 高める！

支援教育では、自分がつけたい力を子どもたちが教員と共にし、それを周りの友だちとも伝え合います。お互いに励まし合い、アドバイスをしながら、挑戦する意欲をさらに高めています。



⑥ 幼小中一貫教育の取り組みを動画で紹 介しています

町が取り組む幼小中一貫教育の様子を、大阪府主催「令和6年度未来に向かう力育成セミナー」で紹介するために大阪府教育庁市町村教育室地域教育振興課に取材頂き、動画を作成頂きました。



その動画を町ホームページで公開しています。

各学校園での活動や、子どもたちの学び・成長の姿をわかりやすく伝える内容となっています。幼小中一貫教育の取り組みがどのように進められ、子どもたちの未来へつながっているのか、映像をつうじてぜひ、ご覧ください。



右記二次元コード、または、インターネットで「太子町幼小中一貫教育」とご検索ください。

◆問合せ 教育総務課 ☎98-5533

詳しくは、こちらから▶

